

【短歌日記 八十五歳の記 (冬編)】

令和八年一月

【一・一】(木)

- ・年始め改めつくづく祈れるは一族無事にて過ぐせる日々をと
- ・年始状今年は8枚届きたり昨年年賀状終ひを宣したる故に  
(昨年の忌中者3名を含む。例年発送数は130枚)

【一・二】(金)

- ・箱根駅伝最高傑作とふ黒田朝日早大・中大を抜き往路優勝遂げる
- ・3位から3分24秒の差を縮め1時間7分16秒の区間新記録す
- ・東京に今シーズン初の雪降れる明日の箱根路雪道なるか
- ・穴水にて家族ら10人失ひし父思い出の品々と一人暮らすと  
(金沢在住、病院介護職員)

【一・三】(土)

- ・箱根駅伝復路に雪は降らずして青学いきなり2位との差を拡ぐる
- ・ゴールまで青学遂に1位譲らず12年で9回の総合優勝果たす  
(往路・復路・総合優勝、いずれも新記録のタイムで)

【一・四】(日)

- ・大河ドラマ「豊臣兄弟」生まれり今年一年は戦国時代のおさらひ
- ・今年初スーパームーンの上り来る旧曆十一月十五日の夜の窓辺に

【一・五】(月)

- ・小寒 寒の入り

【一・六】(火)

- ・年末年始恒例行事を全て終へ一日遅れの日常始まる
- ・今日小寒気温11度と例年並み病む弟からのメールの届く
- ・短歌日記12月後半分から入力し孫の手を借り無事印刷す
- ・鳥取に地震立て続けに4回発生中には長周期地震動レベル4も
- ・ふつつつと七草粥を煮て居りぬ今年一年の無病息災祈り

【一・七】(水)

- ・人日 七草

【一・八】(木)

- ・松飾取れし町には日常が戻りていつもの暮らし始まる

【一・九】(金)

- ・リハビリに歯科のメンテに髪カットひと日を身体のメンテに費やす

【一・十】(土)

- ・1月6日中国地方はM6・4今日は秋田で震度4の地震発生

【一・十一】(日)

- ・今日もまた能登の輪島でM4列島遠近地震の巣窟
- ・首都直下地震の来ぬを祈るばかり正月十日までに3度の地震
- ・今日の日は長女56歳の誕生日鏡開きは遠き日のこと  
(鏡開き)

【一・十二】(月) 成人の日

- ・末の孫無事成人式を迎へたり望みし鷹匠の仕事も決まると
  - ・江戸五感仲間との新年食事も皆それぞれの新年の顔にて
  - ・ただ一人Yさん脳梗塞にて入院中一番若きメンバーなるに
  - ・Nさんは年末右手首骨折りハビリ中フオークで食事するまでには回復して
- 【一・十三】(火)

- ・詩吟の会欠席3人とて休会に空きし時間は短歌日記入力に
  - ・懐かしき大先輩より賀状着く共に生涯学習の推進に尽くせる
- (金子忠興氏 昨年奥様共々ケア施設に入所すると)

【一・十四】(水)

- ・孫二人次なる飛躍に備へをり上は卒論下は就職準備
- ・今更のタッチタイピングに取り組み苦手なる字はIにOにU

【一・十五】(木)

- ・四季の歌新しき期の生まれり課題は「心の旅」に「銀色の道」
  - ・軽井沢スキーバス事故より10年愛息亡くせし父の癒せぬ悲しみ
- (朝日新聞夕刊 「陸人に会いたい」より)

【一・一六】(金)

- ・朝いちで山手・京浜東北運転中止送電トラブル半日超えに
- 【一・一七】(土)

- ・阪神淡路大震災より31年近頃の地震頻発に不安の募る

【一・一八】(日)

- ・今朝の朝日新聞気になる記事の満載に一紙丸ごと取り置きとする
- ・大相撲8日目何と天覧相撲なれど大関・横綱全て破れる
- ・椎葉山に残る「のさり」の原風景たまたまそうなったことへの感謝と

【一・一九】(月)

- ・基準とは唯一己の心のみ百年の歴史覆すトランプ氏
- ・この国にも似た思考持つ高市総理衆院解散を強硬に宣言す

- ・短歌日記自分史の感想メール次々に多摩の妹と詩吟の坂部姉

【一・二十】(火) 大寒

- ・やりたきこと遅々とし進まず一月も早や二十日となる時の流れ
- ・川島隆太の『毎日音読366日』取り組み易きは親しみし詩歌
- ・暦通り寒波襲来の日本列島日本海側猛吹雪となる

- ・北とぴあの「ともしび」の会で声合はず懐かしき歌に心の和む

【一・二十一】(水)

- ・寒波襲来今日より2週間程なると一時北区にも雪の降りたる

【一・二十二】(木)

- ・今年初短歌会に集ひたり3人なれど2時間超えに
- ・バス停脇に昨日の雪の残りをり流石寒中の低温のなか

【一・二十三】(金)

- ・神武以来の天才と呼ばれし加藤一二三笑顔残して86歳で逝く
- 【一・二十四】(土)
- ・ローストビーフ新たなレシピで焼いて見るさしの牛肉見事な仕上がりに
- 【一・二十五】(日)
- ・男の孫が猫をよけバイクで転倒す骨折なくも顔傷だらけ
- ・千秋楽三敗安青錦と熱海富士決定戦制せしは新大関安青錦  
(両横綱は共に五敗に)
- 【一・二十六】(月)
- ・ありがたきことに食材家に溢れ一週間の献立決まる
- 【一・二十七】(火)
- ・衆議院大儀なき解散宣言され最短二週間の選挙戦始まる
- ・シャオシャオとレイレイ中国に返還され国内在住パンダがゼロに
- 【一・二十八】(水)
- ・ありがた山新年会とて韻松亭へ梅が咲き東照宮に冬牡丹咲く
- 【一・二十九】(木)
- ・リハビリにて同じ誕生日の人に会ふ91歳かつて日立に疎開したると
- 【一・三十】(金)
- ・霜柱踏むや足裏にサクサクと崩るる音す楽しからずや  
(三浦さんへ。本歌は、若山牧水の「白鳥は哀しからずや空の青海の青にも染まずた  
だよふ」『海の声』より)
- ・北風の吹きすさびこの冬一番の寒さとなれるパソコン教室への道
- 【一・三十一】(土)
- ・甥姪を7人含むとこ会10人上尾の弟を見舞ひつつ集ふ
- ・見ず知らずの人が手を貸しくる駅の階段上りエスカレーター止まりたる故
- ・ブラタモリにて赤羽の成り立ち知る西に城跡東に闇市  
(太田道灌築城、稻付城跡。静勝寺境内内)
- ・戦中の西は軍都にて跡地には日本初の巨大団地建てらる
- ・ブラタモリの赤羽案内せる学芸員はかつて採用面接せし山口隆太郎なる